

代 表 質 問

9月20日の本会議で、4名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団
上山 なおのり 議員



児童相談所の移管における懸念

質問 人材や財源に係る課題を抱えたまま児童相談所の区への移管を進めれば、相談機能の弱体化を招き虐待への対応力低下が懸念される。早期の課題解決に専念せよ。

区長 議会の議論を受けとめて着実に準備を進め早期移管を目指す。

30年度予算編成に係る区長の方針

質問 財政需要の増大を見据えた持続可能な財政基盤の確立が急務だ。30年度予算編成に際し、区長は財源確保に向けた明確な方針を示し、職員への徹底を図れ。

区長 行政経営改革などに取り組みよう改めて全庁に指示している。**一刻も早い本庁舎整備の実現**

質問 区長の迷走により無駄な時間と労力を費やした本庁舎整備事業において、これ以上の遅滞は許されない。設計事業者が法定次第、整備への取り組みを加速させよ。

副区長 早期整備に向け、32年度の着工を目指し着実に取り組む。

三軒茶屋での施設整備のあり方

質問 三軒茶屋に公共施設を整備する際は、延べ床面積の抑制などに努め低コストで行うべきだ。就労支援施設を集約するだけではなく、重複する機能を整理統合せよ。

政策経営部長 重複する機能を整理し、機能の充実も目指している。

災害時協力協定の内容の見直し

質問 災害時の医薬品提供に関し、区は各種団体と協定を結んでいる。同様の協定を結ぶ他自治体との兼ね合いで医薬品の確保が困難とならないよう、協定の内容を見直せ。

保健所長 必要に応じ医薬品供給体制などに係る協定内容を見直す。

高齢者施設の整備推進

質問 高齢化の急速な進展を見据え、高齢者が安心して暮らし続けられる環境を整備すべきだ。特養ホームはもとより、認知症グループホームなどの整備に尽力せよ。

副区長 公有地や整備費補助などの情報を的確に捉え整備に努める。**障害者理解の一層の促進**

質問 障害者理解促進に向けた取り組みを充実すべきだ。特に、子どもが障害を身近な問題として考えられるよう定期的に障害者施設訪問の機会を設けるなど工夫せよ。

障害福祉部長 障害は身近にあるものという意識づくりに取り組む。

多文化共生に係る条例制定の意義

質問 区は多文化共生に係る条例の骨子案を示したが、当該条例の趣旨は憲法や世界人権宣言で既に網羅されている内容だ。区が当該条例を制定する意義を明確に示せ。

区長 多文化共生社会実現に向け、社会的責任を共有することである。

新たな産業ビジョンの素案の提示

質問 今年度に策定予定の新たな産業ビジョンの素案がいまだに報告されておらず、議会軽視も甚だしい。直ちに素案を提示し、実効性の高い計画の策定に取り組め。

副区長 9月25日に開催予定の区民生活常任委員会で素案を示す。

ホストタウンとしての機運醸成

質問 米国選手団のキャンプ実施に係る契約締結を機に、ホストタウンとしての機運醸成を一層図るべきだ。スポーツに限らず多様な機会を通じて交流事業を行え。

スポーツ推進部長 関係所管と連携し、文化体験などの事業を推進する。

クラスによる被害への対策の強化

質問 クラスによる被害は減少傾向にあるが、餌やりに群がる鳴き声やふんの被害に苦しむ区民の切実な声はいまだに多い。被害の解消に向けた効果的な対策を講じよ。

環境政策部長 餌やり行為禁止に向け条例化を視野に検討を進める。

多文化体験コーナーの有効活用

質問 学校教育で年間61日の利用のほか、外国人との交流の場として中央図書館に整備される多文化体験コーナーは、費用対効果に疑問がある。有効活用されるのか。**教育政策部長** 学校教育以外の活用も進むよう取り組んでいく。

公明党世田谷区議団
佐藤 弘人 議員



都区制度からの脱却

質問 区が責任ある自治体として主体的に施策を展開できるよう、都区制度から脱却して権限と財源の拡充を図るべきだ。専門組織を立ち上げ、具体的な検討を行え。

区長 専門組織立ち上げも視野に、区長会などできつかりと議論する。

4歳児と5歳児の幼児教育無償化

質問 全ての子どもが幼児教育を受けられる環境を整備すべきだ。まずは就学前の2年間を義務教育に準ずる期間と位置づけ、4歳児と5歳児の幼児教育を無償化せよ。

教育次長 財源確保に課題もあるが国の動向などを見据え研究する。

学校給食費の無償化の検討

質問 保護者の負担を考慮して学校給食費を無償にする自治体がある中で、国も給食費に係る全国調査を予定している。国の動きを捉え、無償化の検討に着手せよ。

教育次長 国の動向などを注視し、必要な調査や検討は進めたい。

がん相談事業の実施体制の強化

質問 がん患者の多様化する相談に対応するための体制強化が急務だ。医療相談への対応は医療法人と連携して行うなど、相談事業を担う保健センターの役割を見直せ。

保健所長 保健センターの移設後の機能拡充を踏まえて検討したい。

マイナンバーカードの普及促進

質問 マイナンバーカードの普及を一層促進すべきだ。カードを活用したポイント事業を創設するなど、ポイントを商店街での買い物などに利用できる仕組みをつくれ。

地域行政部長 研究を重ね、カードの普及や利活用の推進に努める。

空き家活用の促進に向けた対応

質問 空き家を公益目的に活用する上で、建築関連の法規制などが妨げとなっている。独自の建築リノベーション条例を制定して改修を促進するなど、対応策を講じよ。

副区長 国や都などの動きを注視しながら、対応策を検討していく。**観光施策と国際交流施策の融合**

質問 東京2020大会開催に伴い多数の外国人観光客が来訪することを見据えた取り組みが重要だ。観光施策と国際交流施策を一体的に推進し、区の魅力を世界へ発信せよ。

生活文化部長 観光事業と連携を強化し、区の魅力発信に努める。

区内産農産物の全国への発信

質問 区内産農産物を世田谷ブランドとして全国に発信すべきだ。高速インター出入り口沿いに道の駅のような直売所などを整備せよ。

区長 新たな事業形態について農業政策の枠を超えて検討を進める。

フードドライブ事業の推進

質問 未使用食品を回収するフードドライブ事業は、食品ロスの削減や環境教育に有効だ。事業の推進体制の強化に向け、現在2カ所の回収場所を各支所に拡充せよ。

清掃・リサイクル課 回収量の推移を見ながら設置可能な施設を検討する。

本文中で使用している省略表記

保健所長 〓世田谷保健所長
障害福祉部長
〓障害福祉担当部長

道路・交通部長
〓道路・交通政策部長

東京2020大会
〓東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

支所
〓総合支所

清掃一組 〓東京二十三区清掃一部事務組合



世田谷アートタウン2017「三茶de大道芸」の様子

世田谷民進党・社民党区議団
藤井 まな 議員



区内に設置できる仮設住宅の戸数

質問 大規模災害が発生した場合、約90万人が住む区内では住宅倒壊などにより多数の仮設住宅が必要となるが見込まれる。区内に設置できる仮設住宅の戸数を示せ。

都市整備政策課 1戸当たり80㎡確保するとした場合、約700戸である。

仮設住宅の確保に向けた取り組み

質問 発災後に区内で仮設住宅が不足することも想定すべきだ。他自治体に協力を求めることも視野に、十分な戸数の確保に取り組み。

都市整備政策課 他自治体へ協力を要請するなど、住宅確保に努める。

民泊に伴う住環境悪化への懸念

質問 住宅街の多い区内において民泊が拡大することで、騒音などによる住環境の悪化が懸念される。条例で民泊事業を行える区域を限定するなど、区として規制を行え。

副区長 政省令などを踏まえて区の考えをまとめ、議会に示したい。

梅ヶ丘拠点でのサービスの質確保

質問 梅ヶ丘拠点の民間施設棟には総合福祉センターの機能の一部が移行する予定だ。運営事業者の人員体制の脆弱さが指摘される中、サービスの質をどう確保するのか。

障害福祉部長 質の確保に向けノウハウの引き継ぎなどを行っている。

児童相談所の移管に向けた対応

質問 区に児童相談所を移管すれば、子ども家庭支援センターとの連携により虐待予防施策を充実できるが、都は移管に協力的とは言えない状況だ。どう対応するのか。

区長 子どもの命と安全が最優先という意識を都と共有していく。

区内農地の保全に向けた取り組み

質問 法改正により、生産緑地地区の指定に係る面積の要件が緩和された。これを機に、区内農地の保全に向けて積極的に取り組め。

日本共産党世田谷区議団
たかじょう 訓子 議員



核兵器禁止条約の採択の意義

質問 核兵器禁止条約が国連総会で採択されたことは核兵器廃絶への大きな一歩だ。区長は当条約の採択の意義をどう捉えているのか。

区長 核兵器の脅威に對峙するための画期的な条約と認識している。講師の暴力的対応への区長の認識

質問 ドリームジャズバンドのコンサート中に講師が生徒に暴力的な対応を行ったことは、指導としては行き過ぎた行為であり許されないことだ。区長の認識を示せ。

区長 指導として行き過ぎた行為であり、二度とあってはならない。

後期新実施計画で重視すべき視点

質問 策定予定の後期新実施計画では、社会の変化に適切に対応する視点が重要だ。福祉制度の改悪への対応や子どもへの貧困対策などに果敢に取り組み区民生活を守れ。

副区長 暮らしの観点での対応を最優先とする必要があると考える。

国保料の軽減に向けた取り組み

質問 現在の国保料は低所得者には負担が大きい。国保制度改革に伴い30年度から財政運営の責任主体となる都に軽減を強く求めよ。

副区長 低所得者対策などを行うよう機会を捉えて要望を続けたい。

就学援助での入学準備金の増額

質問 就学援助での入学準備金支給額は、入学時に必要な学用品購入額と比べて少な過ぎると指摘してきた。国の基準単価の引き上げを受け、区も30年度から増額せよ。

教育次長 財政への影響などを考慮しつつ増額に係る検討を進める。

烏山地域の交通不便地域の解消

質問 区は砧のモデル地区で交通不便地域解消への検討を実施中だが、不便地域があるのは砧地域だけではない。烏山の交通不便地域にコミュニティバス路線を設けよ。

道路・交通部長 まずはモデル地区での取り組みを全力で進めたい。

9月21日及び22日の本会議では、33名の議員が
区政をめぐる諸課題について質問を行いました。
その一部を要約してお伝えします。

羽田 圭二議員
(民進社)



区が目指すべき社会保障のあり方

【質問】 所得に関係なく公平な支援を行って区の子ども医療費助成制度は、社会保障の本来あるべき姿を示している。区はこの視点を重視した施策を一層展開せよ。

【質問】 セーフティネットとなる福祉サービス基盤の充実を図る。

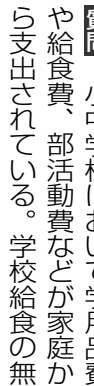
【質問】 都営住宅や区営住宅は、高齢者や障害者などを除いて単身者を入居対象としていない。住宅政策のあり方を見直し、若年の単身者などへの住宅支援を充実せよ。

【質問】 学生などへの支援という観点から居住支援策を議論する。

【質問】 小中学校において学用品費や給食費、部活動費などが家庭から支出されている。学校給食の無償化を都に要望するとともに、現状の負担を取り除く方策を講じよ。

【質問】 財源の課題もあるが、総合的な視点で研究や検討を行いたい。

河野 俊弘議員
(自民)



分煙の徹底に向けた取り組み

【質問】 区は分煙の徹底に一層取り組むべきだ。たばこルールを策定して喫煙者に配慮を促すだけでなく、指定喫煙場所の整備の促進に向けた費用助成なども行え。

【質問】 民間の喫煙場所整備に対する助成制度導入も視野に検討する。

【質問】 ICTの活用による業務の効率化

【質問】 ICTの活用による業務の効率化を一層図るべきだ。タブレット端末を活用して会議のペーパーレス化の拡大に取り組むなど、さまざまな場面で活用を進めよ。

【質問】 ペーパーレス化などに向け、モバイル端末の活用を進めていく。

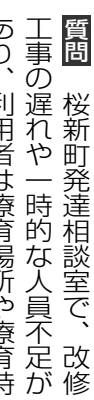
【質問】 くみん窓口でのタブレットの活用

【質問】 ICTの活用を業務の効率化だけでなく区民の利便性向上にもつなげるべきだ。手続時間の短

縮などに向け、くみん窓口においてタブレット端末を活用せよ。

【質問】 窓口相談での活用など、多様な活用策の研究や検討を行う。

桃野 よしふみ議員
(F行軍)



療育施設の運営事業者の不手際

【質問】 桜新町発達相談室で、改修工事の遅れや一時的な人員不足があり、利用者は療育場所や療育時間の変更を余儀なくされた。同様の事態が起きないよう対策を行え。

【質問】 業務連絡会を定期的に開催し、事業運営の状況確認を行う。

【質問】 DV被害者の弁護士に対する認識

【質問】 区長が記者会見で、支援措置においてDV被害者とDV被害者の弁護士を同一とは捉えないと発言をしている。この発言は区の見解として正しいのか。

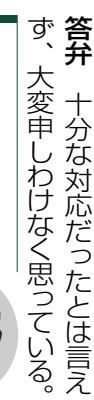
【質問】 DV被害者の弁護士が加害者と同一であるとは考えていない。

【質問】 DV被害者への区の怠慢な対応

【質問】 区はDV被害者から、子どもと二人で生活に困窮しているとの切実な相談を受けたにもかかわらず、就学援助を案内しなかった。これは職務放棄ではないのか。

【質問】 十分な対応だったとは言えず、大変申しわけなく思っている。

ゆさ 吉宏議員
(自民)



児童相談所の開設における懸念

【質問】 児童相談所開設には人材確保などの課題が山積しており、職員が苛酷な労働を強いられることが懸念される。課題を解決しないまま本当に開設するつもりなのか。

【質問】 課題を着実に解決し、早期の開設を目指して全力で取り組む。

【質問】 特養ホーム整備の着実な推進

【質問】 区内の特養ホーム待機者数は、依然深刻な状況だ。次期介護施設等整備計画の策定に当たっては官民連携の視点を重視し、特養ホームの整備に着実に取り組め。

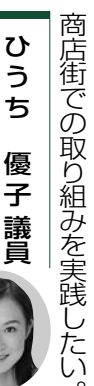
【質問】 住みなれた地域に暮らし続けられるよう、着実な整備を図る。

障害者理解の促進への取り組み

【質問】 区は障害者理解の促進に向け、商店街と連携して買い物などに訪れる区民に障害者理解を啓発する取り組みを検討している。取り組みの内容を具体的に示せ。

【質問】 点字メニューの作成など、商店街での取り組みを実践したい。

ひうち 優子議員
(世田谷)



自転車通行空間の着実な整備

【質問】 自転車と歩行者などの接触事故防止には、自転車専用レーンや自転車ナビラインなどの自転車通行空間の着実な整備が有効だ。

【質問】 29年度に整備予定の路線を示せ。

【質問】 千歳通り約1.2km、用賀中町通り約2.7km、ほか5カ所である。

【質問】 下北沢駅周辺への駐輪場の増設

【質問】 下北沢駅周辺における駐輪場不足の解消を望む区民の声は多い。地下式立体駐輪場の整備や既存の駐輪場の改修など、あらゆる手段を尽くして駐輪場を増設せよ。

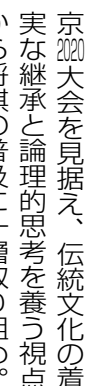
【質問】 29年度に茶沢通り以東において100台規模の駐輪場を整備する。

【質問】 さらなる将棋の普及について

【質問】 藤井聡太4段の活躍により、将棋への注目が集まっている。東京2020大会を見据え、伝統文化の着実な継承と論理的思考を養う視点から将棋の普及に一層取り組め。

【質問】 将棋などを通して伝統文化に親しめる機会の充実に努める。

上川 あや議員
(虹)



多様性尊重に係る条例の違反事項

【質問】 多様性の尊重に係る条例骨子案では、差別禁止規定の規制対象となる行為が不明瞭だ。区民の誤解を招かぬよう、どのような行為が違反となるかを十分周知せよ。

【質問】 実効性確保に向け質疑応答などを作成し十分な説明に努める。

【質問】 条例骨子案における表現の是正

【質問】 多様性尊重に係る条例骨子案の性別等の定義における「男女の別」の表現は、身体的性別の判

断が困難な性分化疾患の方等への配慮に欠ける。他の表現に改めよ。

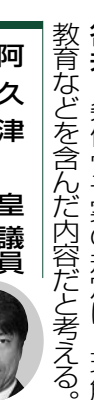
【質問】 性別等の定義は議会や区民の意見を聞きながら検討していく。

性的マイノリティーの理解教育

【質問】 性的マイノリティーを差別しない理解教育の推進は都教委、区教委共通の既定方針であり、区民の支持率も高い。多様性尊重に係る条例の基本的施策に明記せよ。

【質問】 条例骨子案の規定は、理解教育などを含んだ内容だと考える。

阿久津 皇議員
(希望)



児童相談所の設置を見据えた対応

【質問】 区は児童相談所設置に向けた検討を進めている。設置に際しては、保育園や区立校などと密に連携し、虐待が疑われる子どもを確実に支援につなぐ体制をつくれ。

【質問】 児童相談所設置により予防支援の強化が可能になると考える。

【質問】 有事を想定した避難訓練の充実

【質問】 有事の際に区民が的確な避難行動をとれるよう、支援を充実すべきだ。弾道ミサイルの発射やテロ事件の発生を想定した避難訓練を区立校や地域で実施せよ。

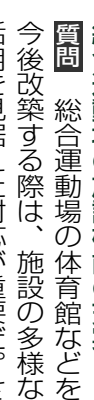
【質問】 他自治体の例を参考に、効果的な訓練の方法を研究していく。

【質問】 総合運動場の施設機能の充実

【質問】 総合運動場の体育館などを今後改築する際は、施設の多様な活用を見据えた対応が重要だ。さまざまな競技連盟が定めている規格や基準を満たすように整備せよ。

【質問】 公式競技会の開催などに資すると考えており整備に努めたい。

山口 ひろひさ議員
(自民)



生物多様性の保全への取り組み

【質問】 外来種の侵入による生態系への悪影響が懸念される。区内に残る豊かな自然環境を守り、次世代へと引き継ぐため、区は生物多様性の保全にしっかりと取り組め。

【質問】 区民が生物多様性の恵みを実感し大切にできるよう取り組む。

地区防災力の向上への取り組み

【質問】 区と防災協定を結ぶ団体が災害時の対応の確認や地域との交流を行うことは、地区防災力の向上につながる。地区での避難所運営訓練などへの参加を団体に促せ。

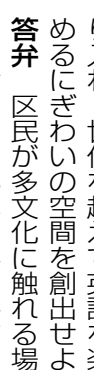
【質問】 避難所運営本部に対し、業者に参加を呼びかけるよう促す。

【質問】 多文化体験コーナー整備での工夫

【質問】 区は中央図書館に多文化体験コーナーを整備予定だ。整備に当たっては、民間のアイデアを取り入れ、世代を超えて英語を楽しめるにぎわいの空間を創出せよ。

【質問】 区民が多文化に触れる場として活用する観点で取り組みたい。

おぎの けんじ議員
(自民)



生産緑地の保全に向けた取り組み

【質問】 生産緑地法制定から30年となる2022年には、生産緑地指定の解除に伴う固定資産税の上昇により、多くの農地が手放される懸念がある。区はどうか保全に取り組むのか。

【質問】 営農が継続できる環境づくりを進め、農地の保全に力を注ぐ。

【質問】 特定生産緑地制度の周知徹底

【質問】 30年度創設予定の特定生産緑地制度は、生産緑地の指定解除前に申し出ること指定を10年延長できる制度であり、農地保全に有効だ。当該制度を周知徹底せよ。

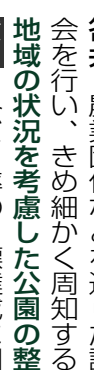
【質問】 農業団体などを通じた説明会を行い、きめ細かく周知する。

【質問】 地域の状況を考慮した公園の整備

【質問】 みどり率の目標達成に固執し、無計画に公園整備を進めれば、緑の偏在を助長することになる。防災の観点も踏まえ、地域ごとのバランスを考慮して整備を進めよ。

【質問】 小規模公園の整備を含め、地域の状況に即して緑を確保する。

佐藤 美樹議員
(希望)



花火大会の開催時期の見直し

【質問】 8月のたまがわ花火大会は、開始直前の天候急変で中止となり、落雷による負傷者も出る事態とな

った。8月には天候急変が多いため、開催時期の見直しを検討せよ。

【質問】 天候が安定してくる時期への変更も視野に、検討を進める。

小規模保育施設の整備促進策

【質問】 低年齢の保育待機児対策が急務だが、区内での小規模保育施設の新設は3年間で3園と低調だ。事業者の応募書類のうち過度なものは削減し、整備促進につなげよ。

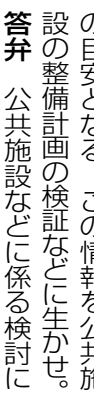
【質問】 保育の質を考慮しつつ、提出書類などの見直しを検討する。

【質問】 新公会計制度導入後の効果的活用

【質問】 新公会計制度導入に伴い貸借対照表に計上される減価償却累計額は公共施設の将来の更新費用の目安となる。この情報を公共施設の整備計画の検証などに生かせ。

【質問】 公共施設などに係る検討に生かせるよう取り組む予定である。

村田 義則議員
(共産)



公文書管理条例の制定

【質問】 公文書管理の一層の適正化を図るべきだ。内部規定のみで管理するのではなく、公文書管理条例を制定して公文書を区民共有の財産として明確に位置づけよ。

【質問】 より適正な公文書管理のため、条例制定に向けて検討したい。

【質問】 公文書館の設置に向けた取り組み

【質問】 区史の編さん過程で収集した資料は、後世に引き継ぐべき重要な財産となる。これらを適切に保存して公開できるよう、本庁舎整備に合わせた公文書館を設けよ。

【質問】 区民が公文書を閲覧、活用できる機能についても検討したい。

【質問】 産業振興基本条例の改正

【質問】 産業振興基本条例は、その視点が工業や農業などの特定分野に偏っている。IT産業の発展などの時代の変化を踏まえ、区内産業全体を網羅した内容に改正せよ。

【質問】 条例の改正について、実態に合うよう見直しを検討していく。





代表質問、一般質問の模様を
ホームページで録画配信しています。
世田谷区議会 議会中継で検索！

河村 みどり 議員
(公明)



児童虐待予防に向けた対策の強化

児童虐待の予防は喫緊の課題だ。妊娠期間接の体制を強化して早期発見に努めるとともに、子ども家庭支援センターと一層連携し、迅速かつ的確な支援を行え。

子ども家庭支援センターを軸に、見守りの機能を強化したい。

医療的ケアが必要な子どもの支援
医療的ケアが必要な子どもの相談に対し、的確に対応できる人材の確保が急務だ。保護者の不安を解消し、ニーズに応じた支援が行えるよう相談体制強化を図れ。

関係機関と連携し基盤となる体制の充実を支援していきたい。

スポーツを通じた障害理解の促進
障害のある人となない人がスポーツを通して交流することは、障害理解の促進につながる。身近な地域で参加できるよう、スポーツに係る交流事業を5地域で行え。

5地域での展開を目指す。多くの人が参加できるよう努める。

青空 こうじ 議員
(無所属)



北沢小の後利用に係る検討手法

北沢小は長年にわたり地域コミュニティの核として重要な役割を果たしてきた。学校の後利用に向けた検討は、地域住民の声を十分受けとめて丁寧に進めよ。

地域住民の声を丁寧に聞き、後利用の方針をまとめていく。

吹奏楽コンクールの開催
子どもが他世代から刺激を受けることは、高い目標を持って行動することにつながる。区内の小学校から大学までの吹奏楽部が一堂に集うコンクールを開催せよ。

開催場所や運営などの課題を整理する必要があると考える。

避難所での妊産婦への支援充実
災害時に妊産婦が避難所で安心して過ごせる環境を整備するためには、助産師の力が不可欠だ。

避難所に適切に派遣できるよう、助産師との連携体制を強化せよ。

福祉避難所などで妊産婦を適切に支援できるよう検討する。

平塚 敬二 議員
(公明)



住宅耐震改修に係る助成金の増額

住宅耐震改修に係る区の助成制度に上乗せ助成する国の制度が27年度末に終了したことに伴い、改修件数が激減した。改修促進に向け、区の助成金額を増額せよ。

耐震化促進に向け、増額も含めさまざまな拡充策を検討する。支所への避雷器の設置推進

ゲリラ雷雨の発生時に、水防拠点となる支所が落雷で機能を失うことのないよう、対策を強化すべきだ。建物を雷被害から守る避雷器の支所への設置を進めよ。

現在未設置である烏山支所への設置に向け、検討していく。

区民交通傷害保険の早急な導入
区は、少額の掛金で自転車事故でも手厚い補償が受けられる区民交通傷害保険の導入を検討中だと聞く。直ちに導入を決定し、30年度途中での募集開始を目指せ。

年度途中の開始の可能性についても迅速に検討を進めていく。

中里 光夫 議員
(共産)



交通不便の解消に対する区の認識

区が示す交通不便地域に当たらない地域でも、通院などに不便を抱え、移動手段の確保を望む住民の切実な声は多い。区はこの現状をどう受けとめているのか。

移動利便性は全区的課題との認識を持ち取り組む必要がある。文化財団のすさんだな労務管理

文化財団は労働条件確認帳票に労働時間の管理が適正である旨の記載を行ったが、実際は過重労働の実態を把握していなかった事実が発覚した。厳しく指導せよ。

改善策の文書提出を指示しており合わせてヒアリングも行う。

公契約条例の実効性の確保

公契約条例は労働環境の改善に十分生かされていない。条例の周知徹底や労働条件確認帳票の記載に係る実態調査の実施など、実効性確保への取り組みを進めよ。

関係団体の意見を聞き実効性ある運用の仕組みを構築したい。

風間 ゆたか 議員
(民進社)



実効性ある産業ビジョンの策定

策定予定の新たな産業ビジョンを業界団体の御用聞きで終わらせてはならない。10年後の産業政策のあり方をしっかりと描いた上で、実効性ある計画を策定せよ。

区内産業の動向を把握し、各種施策に反映させていきたい。

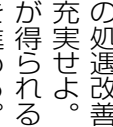
保育室への支援の充実
低年齢児の預かり施設として保育室の役割は大きい。保育室は国や都の補助制度の対象外であるため、区が保育士への処遇改善加算を行うなど支援を充実せよ。

多様な財政支援が得られる認可施設への移行支援を進める。PTA活動の負担軽減

PTA活動と仕事を両立している保護者が多いことを踏まえ、負担の軽減を図るべきだ。活動に関する行政手続の簡素化や研修会の回数の削減などに取り組め。

会議の回数削減や事務手続の簡素化などの支援を一層進める。

江口 じゅん子 議員
(共産)



千歳台交差点の歩道橋のバリアフリー化

千歳台交差点の歩道橋のバリアフリー化は地元住民の切実な願いだ。横断歩道設置を含めたバリアフリー化の実現に向け、歩道橋の調査の実施を都に強く求めよ。

都が調査の準備をしていると聞いており、動向を注視する。

精神障害者への支援体制の強化
区は梅ヶ丘拠点整備に伴い、精神障害者などへの訪問型の支援を開始する予定だ。これを機に、

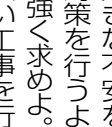
地域の支援団体などと連携して精神障害者への支援体制を強化せよ。

心の健康づくりの取り組みの充実について引き続き検討する。

外環道整備に伴う地盤沈下の懸念
外環道のトンネル掘進工事は周辺で地盤沈下を引き起こす可能性があり、住民は大きな不安を抱いている。万全の対策を行うよう、区は施工業者に強く求めよ。

細心の注意を払い工事を行うことなどを働きかけていく。

菅沼 つとむ 議員
(自民)



上野賀1丁目地区のまちづくり

国立医薬品食品衛生研究所の移転に伴い、上野賀1丁目地区には今後広大な跡地が残る。土地利用の転換が見込まれる中、地区のまちづくりをどう進めるのか。

街づくり協議会と連携し、慎重に地区計画の検討を進める。上野賀公園拡張用地の整備計画

区は上野賀公園拡張用地を、区民がスポーツを楽しめる公園として35年までに整備するとしている。整備計画の策定に当たっては、

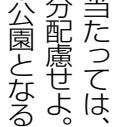
地域住民への影響に十分配慮せよ。

区民に愛される公園となるよう住民参加を得ながら検討する。町会や自治会への加入の促進

町会や自治会は防災や防犯などの地域課題の解決に重要な役割を果たしている。加入の促進に向け、新築の集合住宅の入居予定者へ加入を促すなど工夫せよ。

事業者は町会などの活動を案内してもらえよう働きかけろ。

すがや あゆみ 議員
(SPC)



伝統芸能を学ぶ取り組みの充実

国際社会で活躍する人材を育成する上で、能などの自国の伝統芸能に関する知識を深める視点は重要だ。子どもが伝統芸能を学ぶ取り組みを全区立校で充実せよ。

伝統文化に触れる体験的な教育活動を効果的に実施していく。

中高一貫校の導入

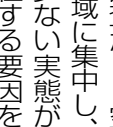
過去の議会で、高校受験に係る子どもの負担軽減や多様な教育機会の提供に向けた中高一貫校の導入を求め、区は検討を進める旨を答弁した。検討状況を示せ。

生徒の募集枠の設定など導入には大きな課題があると考えろ。

地域偏在を踏まえた空き家対策
28年度の区の調査から、空き家は玉川地域と砧地域に集中し、烏山地域が突出して少ない実態が明らかとなった。偏在する要因を分析し、空き家対策に十分生かせ。

偏在要因を分析し、結果を仮称空家等対策計画に反映したい。

小泉 たま子 議員
(希望)



区を示した活動団体支援への異議

区は公共的サービスをを行う活動団体を登録して区施設の優先利用を認める仕組みを検討中だが、自主的活動にお墨つきを与えること自体が誤りだ。抜本的に見直せ。

区民などと十分協議し見直しを視野に入れて検討を進めたい。

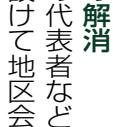
地区会館の偏在状況の解消
区は登録団体の代表者などで構成する協議会を設けて地区会館などの運営を行う案を示したが、地区会館が偏在する現状では不可能だ。まずは偏在状況を解消せよ。

地区会館のない地区でも可能な限り活動の場を確保したい。

総合窓口設置における責任の所在
総合窓口は、当初の想定とは異なり人員増や莫大な経費負担を招き、繁忙期に向けた対策すら十分講じられていない。こうした状況に陥った責任は誰がとるのか。

実施に伴う責任は区長以下我々管理職が負うものと考えろ。

中村 公太朗 議員
(民進社)



税外収入の一層の確保

民間事業者が区施設を使用する際に支払う使用料は、市場価格と比べて安価だ。条例を改正し

て適正な使用料に引き上げるなど、一層の税外収入確保に努めよ。

市場価格に近づけた貸付契約などの手法を検討していく。

多文化体験コーナーのあり方
中央図書館に整備予定の多文化体験コーナーは、英語体験を含む多くの機能が混在し、無駄が多い。英語に触れる環境に特化した施設となるよう抜本的に見直せ。

生きた英語に浸れる施設となるよう、基本的な仕組みを整える。

行政視察の説明資料の有効活用
区の先進的施策に関する他自治体からの視察の受け入れ時に作成する説明資料を有効活用すべきだ。庁内にとどめることなく区民にも公開し、周知を図れ。

内容に応じホームページに掲載するなど活用方法を検討する。

山内 彰 議員
(自民)



私立幼稚園への支援の充実

災害や犯罪から子どもの安全を守る取り組みを強化すべきだ。特に、約1万人もの児童が通う区内の私立幼稚園での防災対策や防犯対策が進むよう支援を充実せよ。

私立幼稚園と意見交換し、安全対策などについて検討する。

子どもの才能を引き出す取り組み
世田谷から一流のスポーツ選手を多数輩出できるよう、区が主体的に取り組むべきだ。才能豊かな子どもを選抜し、スポーツ選手の協力を得ながら育成を行え。

関係所管で連携し、実施の可能性について検討していく。

児童生徒の資格取得への支援充実
子どもが将来の進学や就職の際に役立てられるよう、資格などの取得に向けた支援を充実すべきだ。児童生徒が英語検定などを受験する際の費用を助成せよ。

児童生徒の学ぶ意欲を尊重し自己実現を図れるよう取り組む。



大庭 正明議員
(F行革)



大規模災害時の遺体の管理

質問 首都直下地震発生の際には、区内での死者数が最大65人に上ると想定されている。区は地域防災計画の中で遺体収容所を13カ所の地区会館としているが、開設の時期も情報収集の手順も不明であり、各地区会館までの道路環境も考慮されておらず、実効性に欠ける。まさに遺体の取り扱いを十分に検討していないあかしであり、計画には現実味が全く感じられず、首都直下地震が発生した場合、たちまち大混乱に陥るのは明らかだ。65体の遺体の取り扱いまでが具体的に示されていてこそ地域防災計画と考える。区は危機感のなさを十分認識し、計画を早急に見直せ。

答弁 遺体の取り扱いには搬送手段や収容、安置に必要な資機材の確保など課題が多いが、災害時に実効性のある取り組みが行えるよう、地域防災計画に基づき具体的な流れについて検討を進めていく。

高橋 昭彦議員
(公明)



中学生が活動する場の重要性

質問 区は若者の交流と活動を推進する全区的な拠点として、希望丘青少年交流センターを整備予定だ。中学生が活動する場の重要性を十分認識して整備に取り組め。

答弁 若者の主体的な活動ができる仕組みを構築していく。

都有地の有効活用への取り組み

質問 八幡山3丁目の都営アパートは老朽化による建てかえが予定されている。建物の集約化などにより創出される都有地を福祉施設に活用できるよう、都と協議せよ。

答弁 福祉的環境の整備などについて都との協議をしっかりと進める。

コミュニケーション支援の強化

質問 音声認識や翻訳機能を持つアプリであるUDトークは、障害者や外国人へのコミュニケーション

ン支援に有効だ。言語バリアフリー化に向け、窓口などで活用せよ。

答弁 課題を整理した上で多様な情報媒体の活用に向けて検討する。

高岡 じゅん子議員
(生ネ)



ひとり暮らし高齢者への支援充実

質問 ひとり暮らし高齢者への支援を充実すべきだ。あんしんすこやかセンターが高齢者に積極的にかかわり、孤立防止や介護予防活動への参加促進に一層取り組み。

答弁 住みなれた地域で暮らし続けられるよう支援体制を充実する。

高齢者の孤立防止に向けた工夫

質問 空き家などの活用の取り組みをひとり暮らし高齢者の孤立防止にもつなげるため、高齢者の自宅の空き部屋を地域活動の場として活用する「住み開き」の拡大を。

答弁 空き部屋などの活用策について課題を整理し、検討を深める。

世田谷清掃工場の安全操業の確保

質問 世田谷清掃工場では28年に環境改善対策が行われたにもかかわらず7月に再び炉室内でダイオキシン漏れが起き、追加対策経費も不明確だ。区は適切に対応せよ。

答弁 清掃一組に報告を求めるなど、工場の稼働状況を注視する。

津上 仁志議員
(公明)



全区立校での非常用電源の確保

質問 災害時には、多くの区民が区立校で避難所生活を送ることが想定される。停電時にも十分な電力を供給できるよう、全区立校での非常用電源の確保を進めよ。

答弁 ソーラーパネル一体型の蓄電池を全避難所に拡充予定である。

介護人材確保に向けた住宅支援

質問 都市部における住居費の負担の大きさは、介護人材の確保を阻む一因となっている。人材不足の解消策として、介護職員に対する区独自の住宅支援措置を講じよ。

答弁 転居費用の助成を含め、持続可能な支援策について検討する。

昭和女子大学前の歩道幅員の確保

質問 国道246号線にかかる昭和女子大学前の歩道橋は、階段部分が南側の歩道幅員を大幅に狭めている。国などと一層連携し、十分な歩道幅員の確保に向けて取り組み。

答弁 利用者などの声も踏まえ、関係機関と粘り強く調整していく。

あべ 力也議員
(減税)



ふるさと納税返礼品を見直せ!

質問 区がふるさと納税の記念品に選定した世田谷みやげは、全98商品のうち一部のみだ。公平性の確保に向け、寄附者が全商品の中から自由に選べる方式に見直せ。

答弁 商品の入れかえや選択できる幅の拡大などの改善に取り組む。

公共施設全トイレを洋式化せよ!

質問 災害時における避難者や東京20大会の際に来訪する外国人観光客に配慮したトイレの整備を進めるべきだ。区内の公共施設にある全てのトイレを洋式化せよ。

答弁 洋式化を初め利用しやすい施設の実現への改修に一層努める。

歩きスマホ根絶世田谷ルールを!

質問 「歩きスマホ」は視覚障害者などとの衝突事故を招く大変迷惑な行為だ。区は「歩きスマホ」の根絶に向けた対策を講じるため、全国初となるルールを策定せよ。

答弁 公共の場において何らかの規制をかけることを考えてみたい。

安部 ひろゆき議員
(自民)



口腔衛生センターの体制強化

質問 梅ヶ丘にある口腔衛生センターはふえ続ける利用者に対して対応できていない状況だ。梅ヶ丘拠点の開設に伴う利用者の増加も見据え、早急に体制強化に取り組み。

答弁 歯科診療機会の拡充に向け、歯科医師会と連携して検討する。

災害時用の医薬品備蓄体制の強化

質問 大規模災害時には、搬送経路の確保などの課題もあり事業者から医薬品を調達することは現実

的には困難だ。梅ヶ丘拠点整備に際し、医薬品の備蓄拠点を設けよ。

答弁 梅ヶ丘拠点での慢性疾患などに係る医薬品の備蓄も考えたい。

赤道の有効活用

質問 国からの移管財産である赤道が私有地内にある場合、区から取得しない限り改築などを行えない。赤道を活用した公益的な施設の改築が進むよう柔軟に対応せよ。

答弁 改築の機会などを捉え、まちづくりに活用していきたい。

加藤 たいき議員
(自民)



学校体育館への冷房機の設定

質問 区立校の体育館には冷房機がなく、終業式の際は余りの暑さに体調を崩す子どももいたと聞く。国の補助を活用し、改築や改修に合わせて冷房機の設定を進めよ。

答弁 児童生徒の教育環境の改善の観点から、今後検討を進めたい。

避難所となる体育館の環境整備

質問 東日本大震災の際に避難所となった学校体育館は、冷房機を備えておらず苛酷な生活環境にあった。危機管理の点から体育館への冷房機設置に対する見解を示せ。

答弁 有効だが広い空間の室温管理には相当数の設置が必要となる。

ハトのふん尿による被害への対策

質問 餌やりに集まるハトのふん尿による生活被害に苦しむ区民は多く、ふんを媒介とした感染症への罹患も懸念される。ハトへの餌やりを禁止する条例を制定せよ。

答弁 可能な限り早期の条例化を含め、対応策を検討していきたい。

田中 優子議員
(F行革)



暴力容認の認識が拡大する懸念

質問 ドリームジャズバンドのコンサート中に講師が生徒に暴力を振るったことで、暴力容認の認識が広まりかねない。こうした懸念があることを区長は十分認識せよ。

答弁 体罰容認の風潮を助長するとの声があることは認識している。

行き過ぎた指導との見解の撤回

質問 暴力行為を指導と捉えることなど許されない。区長は行き過ぎた指導との見解を直ちに撤回し、暴力行為は認めないという意思を明確に示した上で、対策を講じよ。

答弁 改善に向けた具体的な措置を行うよう教育委員会に指示した。

暴力行為に対する区長の詭弁

質問 区長はドリームジャズバンドのコンサート中における講師の暴力行為を体罰の手前としたが、そのような概念は存在しない。体罰に当たる暴力行為だと認めよ。

答弁 今回の行為は行き過ぎた指導であり体罰の手前と考えている。

田中 みち子議員
(生ネ)



里親への支援体制の構築

質問 児童虐待件数は12万件を超え、社会的養護が必要な子どもがふえている。愛着形成を重視し、家庭養育の拡大を図ることはもとより、里親への支援体制を築け。

答弁 養育者の考えを尊重しつつ、具体の方策について検討を進める。

性差の理解促進に向けた取り組み

質問 男女が性差を理解し、よりよく生きる権利であるリプロダクティブ・ヘルス/ライツの啓発が重要だ。策定予定の男女共同参画に係る条例にこの視点を盛り込め。

答弁 制定予定の条例において、そうした視点についても検討する。

障害者差別解消条例の制定

質問 相模原市の障害者施設での殺傷事件から1年が経過した。悲痛な事件が二度と起こらないよう、障害者理解の促進に向けた区独自の障害者差別解消条例を制定せよ。

答弁 区の条例のあり方について調査し、検討を深めていきたい。

石川 ナオミ議員
(自民)



千歳台交差点への横断歩道の設置

質問 都は千歳台交差点の歩道橋に関する調査を実施する予定だ。この機に、住民が切に願う交差点

への横断歩道の設置が一刻も早く実現するよう都に一層強く求めよ。

答弁 都と連携を図り地元要望の早期実現に向けて全力で取り組む。

保育士の処遇改善への取り組み

質問 区は保育士の確保に向けた補助を行っているが、補助金を活用しない事業者もあると聞く。事業者が申請しやすいよう申請書類を簡素化し、処遇改善につなげよ。

答弁 処遇の均一化に向けて事業者に働きかけていく必要がある。

ソーラー充電スタンドの普及促進

質問 太陽光発電を活用して蓄電を行うソーラー充電スタンドは、携帯電話の充電ができることに加え、災害時の電源確保にも有効だ。区は積極的に普及促進に取り組め。

答弁 関係所管で連携し普及に向けた検討を進めたいと考えている。

そのべ せいや議員
(民進社)



サイバー攻撃への対策の強化

質問 区は利便性の向上などに向け、クラウドサーバーの利用を進めている。公的機関へのサイバー攻撃が相次いでいる現状を踏まえ、セキュリティ対策を強化せよ。

答弁 セキュリティーが高いクラウドを選択できるよう取り組む。

災害関連情報の発信方法の工夫

質問 区ホームページでの災害関連情報の発信方法を工夫すべきだ。必要な情報を優先的に発信できるように、災害時にはトップページを災害専用のページに切りかえよ。

答弁 通常業務の情報を含めバランスよく発信できるよう研究する。

元号改正を見据えた対応

質問 天皇の生前退位による元号の改正を見据え、和暦と西暦の併記を進めることで、資料などの連続性が担保される。区の刊行物における西暦の併記の状況を示せ。

答弁 一部西暦を使用しているものも含め、全体の約2割である。



会派等の意見

28年度決算を審査するため、45名の議員で構成する決算特別委員会を設置し、10月3日から10月17日の間、延べ7日間にわたり質疑を行いました。
ここでは、決算特別委員会での質疑や要望、今定例会最終日に表明された28年度決算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

本会議での意見表明者

自由民主党世田谷区議団…和田ひでし議員
公明党世田谷区議団…津上 仁志議員
世田谷民進党・
社民党区議団…そのべせいや議員
日本共産党世田谷区議団…桜井 稔議員
無所属・世田谷行革110番…大庭 正明議員
せたがや希望の会…阿久津 皇議員
生活者ネットワーク
世田谷区議団…田中みち子議員
減税せたがや…あべ 力也議員
ラインボー世田谷…上川 あや議員
せたがやすこやかプロジェクト…すがやすこ議員
世田谷無所属…ひうち優子議員
無所属…青空こうじ議員

区長は場当たり的な対応を改め 将来を見据えた区政運営を行え

―自由民主党世田谷区議団―

(全ての会計に賛成する意見)

自治体経営では、目先の利益のみを追わずに将来をしっかりと見据えた設計図を描くことが重要だ。しかし、区長が将来を見据えた設計図を描き、次世代にツケを残さず、安心して暮らし続けられる地域社会の構築に向けた区政運営を行っているのか、不安を抱えているのは我々だけではないはずだ。
その一例が67年ぶりに議会において修正可決された28年度一般会計予算だ。その修正要因である本庁舎整備に関しては、さきの設計業務委託の候補者決定に伴い、ようやく整備手法が確定したことからも、本庁舎の一部保存に必要な調査費の減額を提案した我々の判断が正しかったことは明らかだ。
改めて申し上げるが、この間の本庁舎整備における保坂区長の迷走による経費と時間と職員の労力の損失ははかり知れない。これこ

そ区長が議会からの意見や提案に耳を貸さずに自身の価値観にこだわる余り、スケジュール感を見失い、本庁舎整備に係る決断を避け続けた結果であることは明白だ。首都直下地震に備えるためにも、本庁舎整備のこれ以上のおくれは許されない。設計業務委託の候補者が示した工期を短縮する意気込みで取り組むことを強く求める。

また、区長は行政経営改革に消極的な姿勢を改めず、予算と組織の肥大化を招く一方だ。「参加と協働」を標榜するならば、十分な効果が確認できない行政サービスを廃止、縮小するなどの痛みを伴う改革であつても、区民に丁寧の説明して理解を得た上で推進せよ。

加えて、29年第1回定例会に提出された区営住宅管理条例ほか2件の条例改正案が、議会での議論が不十分、区民周知不足などの理由により全会一致で閉会中の継続審査となったことは記憶に新しい。区長は本庁舎整備や行政経営改革など、自分に都合が悪い課題については判断を先送りをする一方、関心が高い施策は拙速に事業化している。これはまさしく区長が将来を見据えた設計図を描かず、その場しのぎの区政運営による停滞と迷走を繰り返しているあかしだ。

90万都市世田谷のリーダーを務めるには、決断力と行動力が必要であることは言うまでもない。我々は、これまでも区長にリーダーとしての資質や姿勢をただし、重要課題に係る決断を求めてきた。

今定例会の代表質問でも、リーダーシップを遺憾なく発揮して健全財政の維持に向けた予算を編成するよう全職員に強く訓示すべきと提案した。しかし、予算見積もり

の集計状況を聞く限り残念ながらそれほど成果は上がっていない。こうした状況で提出された28年度決算だが、経常収支比率が27年度比1.8ポイント増となり、財政の硬直化が懸念される。また、一般会計予算の執行率が27年度比0.5ポ

イント減となり、160億円以上の不用品が生じている。区は、社会保障関連経費の増加を初めとした財政需要の増大を見据え、実効性の高い行政経営改革を断行して持続可能な財政基盤を確立せよ。また、30年度の予算編成に当たっては、財源の効果的配分を徹底し、多様化かつ複雑化する区民ニーズに的確に対応することを強く求める。

北朝鮮の弾道ミサイル発射や核実験などの影響により世界経済の見通しは非常に不安定な状況だ。区も、ふるさと納税の影響による特別区税の著しい減収などが懸念されることを踏まえると、手綱を緩めることなく行政経営改革をしっかりと進めていく必要がある。

先日、区民会館で区制施行85周年の記念式典が開催された。先人たちが幾多の困難を乗り越え築き上げてきたこの世田谷を、区制施行100年、150年に向けて一層発展させるためには、東京20大会での米国のホストタウンとしての取り組みや、本庁舎整備などの事業を成功させることが不可欠だ。さらに、道路整備や建物の耐震化、みどり施策などの都市基盤整備を初め、子育て支援の拡充、地域包括ケアシステムの強化、教育の充実など、将来を見据えた施策を総合的に推進していかなければならない。

我々は、区民の信託に応えるため、「魅力あふれるまち世田谷」の実現に向けて全力で邁進していく所存である。区政を前進させるためには副区長や教育長を初め、職員一人ひとりの力が必要だ。職員が能力を発揮できるかは区長の手腕にかかっている。場当たり的な対応や判断の先送りにより職員を疲弊させることなく、職員を信頼し、全庁一丸となって区の一層の発展に努めることを強く求める。

30年度予算の編成作業が始まっている。議会による修正を余儀なくされた28年度予算と同じ轍を踏むことなく、健全財政の構築につながる予算となることを期待する。

メリハリある行財政改革を断行し 未来ある子どもへの投資を行え

―公明党世田谷区議団―

(全ての会計に賛成する意見)

未来を切り開き平和をつくる人間を育て、知性を磨く力を養うことが教育の本質だ。人間の幸福のために教育があると言っても過言ではない。我々は「教育のための社会」の構築を旗印に掲げ、教育の一層の充実に注力していく。

28年度決算では、梅ヶ丘拠点整備などの大規模事業に係る経費や子ども関連経費などが増大しており、特別区債の発行額も27年度比で約187%ふえている。さらに、本庁舎整備などに伴う多額の財政支出が見込まれることも踏まえれば、区の財政は決して予算を許さない状況だ。真に必要な事業を見きわめて財源と人材を投じ、不要な事業は廃止するなど、メリハリある行財政改革を早急に断行せよ。

以下、我々が最重要課題と考える施策について意見を述べる。

第1に、未来ある子どもへの投資についてである。子育て家庭の負担の軽減を図るため、教育の無償化を実現すべきだ。まずは、幼児教育の無償化に向けた具体的な検討に着手せよ。学校給食費を独自に無償化する自治体がふえている。無償化の実現に向けた財源の確保に課題があるのであれば、給食費の一部補助を実施し、段階的に実現できるよう道筋を立てよ。児童館は、子育て支援や身近なコミュニケーションの拠点として重要な役割を担っている。児童館の未整備地区の解消を図るため、民間事業者による児童館の設置を促進し、柔軟な発想を生かした事業の展開にもつなげよ。新BOP学童クラブの利用時間の延長を求める保護者からの切実な声が多い。職員の勤務体制を見直し、保護者の二

ズに柔軟に対応せよ。子育てと仕事の両立に向けた支援を充実すべきだ。夜間の勤務を余儀なくされる看護師や介護士などが安心して働けるよう、夜間保育や休日保育の拡充に積極的に取り組め。

第2に、国際交流施策と観光施策の融合についてである。東京2020大会の開催に当たり、区内では米国選手団のキャンプや馬術競技が実施される。これを機に、区内外から多くの観光客を呼び込むため、観光施策と国際交流施策を一体的に推進せよ。地域活性化にもつながるよう、民間の発想を積極的に取り入れ、行政と民間の役割を明確にした上で観光施策を進めよ。

また、国際交流施策の一層の推進に向け、国の支援事業を積極的に活用せよ。さらに「国際都市自治体サミット」や「世田谷とアメリカ文化の融合」など、魅力ある企画を実施することを強く求める。

最後に、図書館ビジョンについてである。区が示した第2次図書館ビジョン第2期行動計画の素案では、民間活力の導入に係る視点が不十分だ。図書館を単なる図書の貸し出しや自習を目的とした施設とするのではなく、民間の発想により魅力的な公共空間サービスの拠点として整備すべきだ。中央図書館を含めた全区立図書館の民営化に向けた道筋を明確に示せ。

世田谷の持続的な発展を目指し 戦略的に施策を展開せよ

―世田谷民進党・社民党区議団―

(全ての会計に賛成する意見)

28年度の区政運営で、区民参加の促進、自治体間連携による自然エネルギーの普及、民間との協働に一層取り組んだことを評価する。区政の適切な運営や世田谷の持続的な発展に向け、以下を要望する。家庭の経済状況にかかわらず、子どもが充実した教育を受けられ

るよう、教育の無償化に取り組め。教育現場においては、あらゆる暴力の根絶に取り組むとともに、教員や学校職員への人権教育を徹底せよ。また、区立校における教科日本語の授業時間を統一せよ。入札に当たっては、最低制限価格を下回った事業者を失格とすべきかどうかをしっかりと検証せよ。区はDV被害者への対応に係る不手際を反省し、被害者に寄り添った対応が行えるよう改善を図れ。町会や自治会を初め、区の補助金を受け取っている団体に対して政治的中立性の確保を強く求めよ。外郭団体に労働環境を改善するよう指導し、働き方改革を促せ。制定予定の多様性尊重と男女共同参画に係る条例には、差別禁止規定を明記し、実効性を確保せよ。介護人材の確保を一層進めよ。

三軒茶屋での公共施設整備の方針では、区長公約の世田谷支所移転が棚上げされた上、機能集約の効果にも疑問がある。福祉の窓口機能の設置を含め、再検討せよ。本庁舎整備の基本設計に当たっては、設計者選定に応募した事業者のアイデアを幅広く活用せよ。

区の産業政策は、近年のIT産業や福祉関連産業などの成長を踏まえた見直しが必要だ。まずは区内産業の実態を把握し、外部人材を交えて今後の政策を立案せよ。民泊については、産業政策における位置づけを明確にせよ。また、住環境の保全を最優先とし、実施可能な地域や日数を制限せよ。



バンパリー市小学生親善訪問団の議会表敬訪問



決算特別委員会の模様をホームページで録画配信しています。

世田谷区議会 議会中継で検索！

28年度決算に対する

熊本前区政からの転換を一層進め
区民の暮らしを最優先で守れ

ー日本共産党世田谷区議団ー

（国保会計と後期高齢者会計には反対、一般会計と介護会計と給食会計には賛成する意見）

区長が、28年度に住民税非課税世帯における特定健診とがん検診の無料化や不要不急の道路整備事業の見直し、3歳児以上の保育待機児の解消、給付型奨学金制度の創設に取り組んだことを評価する。今後も熊本前区政からの転換を一層進め、国の社会保障制度改善から区民を守る施策を展開せよ。

区内の都市計画道路の未整備路線について、必要性や整備する上での課題をしっかりと精査し、整備計画の見直しに向けて尽力せよ。

図書館運営などへの民間活力の導入に伴う弊害を十分に検証し、改善につなげよ。指定管理者の選定過程を公開せよ。施設使用料の見直しについては慎重に検討せよ。

本庁舎整備の設計者の選定における情報公開と区民参加の取り組みを高く評価する。情報公開を一層進めるため、公文書管理条例を制定し、行政文書を区民との共有財産として明確に位置づけよ。

次に30年度予算の要望を述べる。

国保の広域化に際し、多子世帯や低所得者世帯への区独自の負担軽減策を講じよ。就学援助での入学準備金を増額せよ。全地区における地域密着型の介護施設の整備を進めよ。都と連携して学校給食費を助成せよ。産業振興基本条例を事態に即して改正せよ。住宅耐震化を促進せよ。多様性尊重と男女共同参画に係る条例の制定に際しては区民意見を反映し、苦情処理規定も明記せよ。三軒茶屋の公共施設の整備方針を再検討せよ。



区長は身勝手な行動を厳に慎め

ー無所属・世田谷行革110番ー

（一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見）

区長は言動と思考が全く一致していない。その最たるものが世田谷支所移転を中長期的課題とした今議会での答弁だ。これは世田谷支所を現庁舎の敷地内に整備するとした基本構想と矛盾する。三軒茶屋への行政機能の整備については、公約である世田谷支所移転の挫折の後始末を職員に押しつけているだけであり、無駄そのものだ。今議会の区長答弁での「体罰の手前」との造語は明らかに暴力を容認する側に立った表現であり、区長が「暴力は認めない」と発言したところで全く説得力がない。

また、区長が本庁舎整備の設計に係るプロポーザルへの参加事業者と私的な接触を重ねていたことは公務員倫理に欠ける行為だ。議会軽視の身勝手な行動が大問題に発展することを区長は肝に銘じよ。区長の信頼性を欠く言動を問題視し、一般会計決算に反対する。

区民目線に立つて施策を展開せよ

ーせたがや希望の会ー

（全ての会計に賛成する意見）

三軒茶屋への行政機能の整備は、その経緯や費用対効果などの面で疑問だ。白紙に戻して再検討せよ。世界に貢献できる国際交流の取り組みを積極的に展開するため、国際交流協会を直ちに設立せよ。

スライキャロット展望ロビーの改修案は、利用する区民への配慮に欠けている。早急に改善せよ。

くみん窓口が当初の想定と異なり人員増や経費負担増を招いたことは問題だ。せめて区民を待たせないよう繁忙期対策を十分講じよ。

区の人口増加を見据え公共施設整備に係る基金を十分積み立てよ。グリーンサポート事業における事業者への過大な補助金を見直し、小規模保育事業所の整備促進に向け、応募書類を簡素化せよ。

児童養護施設退所者などへの給付型奨学金の給付対象を拡充せよ。

区は区民目線に立ち既存の枠組みを超えた柔軟な施策を展開せよ。

区民の人権を守る施策を展開せよ

ー生活者ネットワーク世田谷区議団ー

（全ての会計に賛成する意見）

行政改革に一層取り組み。ユニバーサルデザインの視点を盛り込んだ本庁舎を整備せよ。社会的養護が必要な子どもへの支援体制を強化せよ。教育現場での体罰を根絶せよ。条例制定も視野に、障害者の社会参加と雇用を促進せよ。地域包括ケアシステムを充実せよ。

都市基盤への緑化を含め、みどり施策を推進せよ。世田谷清掃工場のガス化溶融炉の廃炉を清掃一組に強く求めよ。制定予定の男女共同参画に係る条例に苦情審査会の設置を明記するなど、実効性を確保せよ。議員の海外派遣を見直し、真の区民参加と情報公開実現を！

ー減税せたがやー

（全ての会計に賛成する意見）

区長は都実施済みの口利き記録の区実施提案には知らんぷり。区民参加と情報公開はまやかした！本庁舎整備や災害対策強化等、山積する課題の解決と、サラリーマン・働く女性・若者・高齢者等の一人ひとりが尊重される公平公正な区政実現に向け誠実に取り組め。

事務事業を細かく点検し改善せよ

ーレインボー世田谷ー

（全ての会計に賛成する意見）

制定予定の多様性尊重に係る条例に性的マイノリティーへの差別禁止規定を確実に設けよ。身体障害者手帳申請に係る診断料助成は、全医療機関を対象とせよ。劣化した文化財標示板を直ちに改修せよ。区職員の労働時間の正確な把握に向け、退勤時刻の記録を徹底せよ。



生活環境を充実する施策を進めよ

ーせたがやすやかプロジェクトー

（全ての会計に賛成する意見）

ライフスタイルに合わせた休暇の取得を職員に促せ。世田谷版ネウボラなどの子育て支援事業をわかりやすく周知せよ。南北交通改善の為にバス路線拡充を図れ。狭あい道路の拡幅整備と無電柱化を進めよ。大規模校への人的支援を充実せよ。中高一貫校を導入せよ。

快適に生活できる環境を整備せよ

ー世田谷無所属ー

（全ての会計に賛成する意見）

改築予定の梅丘図書館、改修予定の中央図書館を滞在型図書館としてリニューアルすべきだ。ICタグの導入や閲覧室の充実、カフェの併設などに取り組み。自転車利用者の安全確保に向け、自転車ナビマークのアスファルト舗装の部分と側溝との段差を解消せよ。

区に愛着を持った職員を育成せよ

ー無所属ー

（全ての会計に賛成する意見）

世田谷の事をよく知り、区への愛着を持った職員を育成するため、区独自の働き方改革に取り組むべきだ。定時で退庁することを前提として、職員が定期的にまちづくりセンターに向いて情報交換を行う機会を設けるなど、現場感覚の養成と超過勤務の削減を図れ。

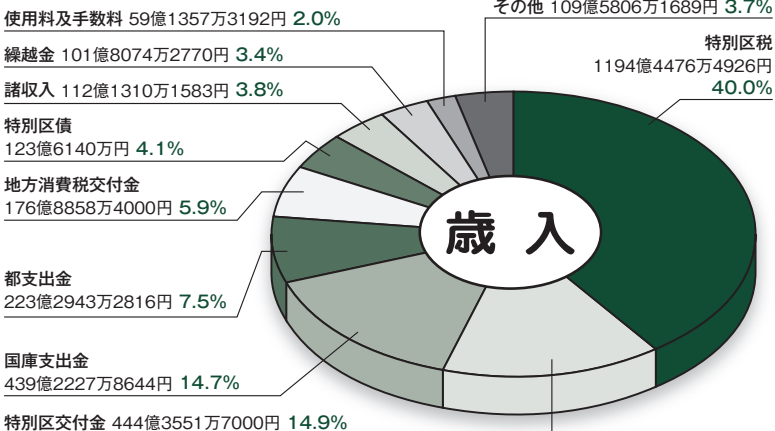


決算特別委員会での採決の様子

平成28年度各会計決算額

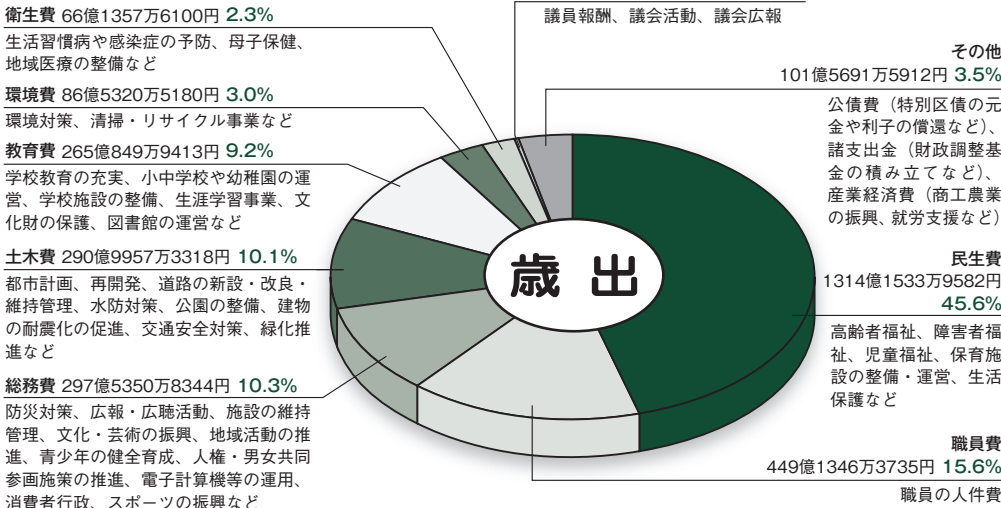
	歳入決算額	対前年度比増減率	歳出決算額	対前年度比増減率	歳入歳出差引額
一般会計	2984億4745万6620円	5.7%	2878億7791万2869円	5.8%	105億6954万3751円
特別会計					
国民健康保険事業会計	943億9134万7390円	-1.7%	937億4142万7638円	-1.8%	6億4991万9752円
後期高齢者医療会計	206億8420万383円	6.2%	195億4635万6111円	5.6%	11億3784万4272円
介護保険事業会計	601億6265万6255円	3.0%	585億9041万3503円	0.9%	15億7224万2752円
中学校給食費会計	1億6291万5549円	7.0%	1億6183万3585円	7.6%	108万1964円
計	4738億4857万6197円	3.8%	4599億1794万3706円	3.5%	139億3063万2491円

一般会計決算の内訳（％＝構成比）



※構成比（％）は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないものがあります。

平成28年度 決算のあらまし



第4回定例会は11月27日から12月6日まで開催する予定です

↑ページからの続き

●議員提出議案 2件

○北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核実験に抗議する決議
(全員賛成)

○オウム真理教(アレフ・ひかりの輪)に対する公安調査庁による観察処分期間更新を求める意見書
(全員賛成)

―決議と意見書の内容は下記のとおり―

●議員の派遣 1件

(賛成多数) 賛成＝自民、公明、民進社、共産、希望、虹、SPJ、世田谷、無所属
反対＝F行革、生革、減税

○バンパリー市姉妹都市提携25周年記念式典への参加のため、議員6名を派遣する。

●決算特別委員会の設置と委員の選任

(全員賛成)
28年度決算を審査するため、決算特別委員会を設置し、45名の議員を委員として選任する。

請願

皆さんから新しく出された請願・陳情をお知らせします。

◆企画総務常任委員会に付託 2件

○庁舎内における個人への政党機関紙の勧誘・配達・集金を禁止

議会日誌

閉会中に開催された委員会

7月5日(水) 企画、区民、文教
6日(木) 福祉、都市
7日(金) 議運
10日(月)～12日(水) 区民(視察)、文教(視察)
12日(水)～14日(金) 企画(視察)、都市(視察)
18日(火)～20日(木) 福祉(視察)
26日(水) 企画、区民、文教
27日(木) 福祉、都市
8月25日(金) 議運
9月5日(火) 企画、区民、福祉、都市、文教
6日(水) 企画、区民、福祉、都市
7日(木) 分権、災害、オリパラ、交通
11日(月) 議運

会期中の主な会議日程

9月20日(水) 本会議(代表質問)、議運
21日(木) 本会議(一般質問)
22日(金) 本会議(一般質問、議案の付託、議案の議決、請願の付託)、決算
25日(月) 企画、区民、文教
26日(火) 福祉、都市
27日(水) 分権、災害、オリパラ、交通
28日(木) 企画
29日(金) 本会議(議案の議決、議案の付託)、企画、議運
10月3日(火) 決算(総括質疑)
4日(水) 決算(企画総務委員会所管質疑)
6日(金) 決算(区民生活委員会所管質疑)
10日(火) 決算(福祉保健委員会所管質疑)
12日(木) 決算(都市整備委員会所管質疑)、分権
13日(金) 決算(文教委員会所管質疑)
17日(火) 決算(補充質疑)
20日(金) 本会議(議案の議決、請願の付託など)、議運

委員会名称

企画＝企画総務常任委員会 区民＝区民生活常任委員会
福祉＝福祉保健常任委員会 都市＝都市整備常任委員会
文教＝文教常任委員会 議運＝議会運営委員会
分権＝地方分権・本庁舎整備対策等特別委員会
災害＝災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会
オリパラ＝オリンピック・パラリンピック・環境対策等特別委員会
交通＝公共交通機関対策等特別委員会
決算＝決算特別委員会

するよう求める陳情

○固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願

◆区民生活常任委員会に付託 1件

○奥沢ビル耐震工事に関する陳情

◆福祉保健常任委員会に付託 1件

○市民参加を前提にした実効性のある世田谷区の地域包括ケアシステムの構築を求める陳情

◆都市整備常任委員会に付託 1件

○地下マンションの建設規制強化と、新規建設の際の環境保護、近隣住民への配慮について、区により積極的な役割を果たすように求める陳情

◆文教常任委員会に付託 1件

○世田谷区立北沢小学校の小規模特認校制度導入に関する陳情

◆災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会に付託 1件

○北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施を求める陳情

決議

北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核実験に抗議する決議

北朝鮮は、8月29日に弾道ミサイルを発射し、9月3日には6回目の核実験を実施した。さらに、我が国を初めとした国際社会から

の自制を求める声に耳を傾けることなく挑発的な発言を重ね、9月15日に再度、弾道ミサイルを発射した。

北朝鮮は、これまでも国連安全保障理事会決議等に反し、ミサイル発射や核実験を繰り返してきたが、これらの行為は、我が国を含む地域の安全に対する脅威であるとともに、国際社会の平和と安全を強く脅かす行為である。

世田谷区議会は、昭和60年に平和都市宣言に関する決議を行い、世田谷区とともに、核兵器の廃絶と平和の尊さを訴えてきた。核兵器の廃絶と恒久の平和を求める願いは、世田谷区民のみならず世界共通の願いであり、この切なる願いを踏みにじる北朝鮮の暴挙を断じて許してはならない。

よって、世田谷区議会は、北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核実験に対して厳重に抗議するとともに、このような行為を二度と繰り返さぬよう強く求めるものである。

以上、決議する。

平成29年9月29日

意見書

区議会は、次の意見書を関係機関あてに提出しました。

オウム真理教(アレフ・ひかりの輪)に対する公安調査庁による観察処分の期間更新を求める意見書

オウム真理教は、平成7年の地下鉄サリン事件を初め、無差別大量殺人を行うなど、凶悪な犯罪を重ねてきました。現在は「アレフ」及び「ひかりの輪」に分裂し名称を改めて別団体を標榜しているものの、麻原彰晃こと松本智津夫死刑囚の教義を隠し持つなど実態は変わっておらず依然として不穏な活動が続いています。

公安調査庁の発表によれば、国内には信者が約100人おり、約30カ所余りの場所に居住または拠点施設を有し、危険な教義を保持し続けています。

世田谷区内においても、平成12年12月に信者が大量転入して以来、烏山施設が本部拠点化され、「アレフ」は平成23年3月に退去しましたが、「ひかりの輪」は活発な活動を続けております。地元住民はもとより多くの区民の不安と恐怖は、いまだ解消されておられません。

区も住民の安全で安心な生活を取り戻すため、地元住民とともに積極的に活動を展開しております。しかし、自治体や住民の力には限界があり、これまでも世田谷区を挙げてオウム真理教問題の早期解決に向けた抜本的な対策を国に対して要望してきたところであります。

このような状況の中、来年1月末には、平成27年1月に期間が更新された、オウム真理教(アレフ・ひかりの輪)に対する「無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律」に基づく公安調査庁の観察処分の期間が満了を迎えるようとしています。

このままでは、区民の不安と恐怖はますます高まること懸念されます。

よって世田谷区議会は、オウム真理教(アレフ・ひかりの輪)を引き続き観察処分とすることを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出いたします。

平成29年10月20日

法務大臣、公安調査庁長官、公安審査委員会委員長 あて

会派等の構成と名称の変更

「無所属・世田谷行革110番」は

10月26日付で会派名を「無所属・世田谷行革110番・プラス」に変更し、同日付でそのべせいや議員が「無所属・世田谷行革110番・プラス」に加わりました。

この結果、区議会の会派等の構成は次のとおりになりました。

自由民主党世田谷区議団	16人
公明党世田谷区議団	10人
世田谷民進党・社民党区議団	5人
日本共産党世田谷区議団	5人
無所属・世田谷行革110番・プラス	4人
せたがや希望の会	3人
生活者ネットワーク世田谷区議団	2人
減税せたがや	1人
レインボー世田谷	1人
せたがやすみやプロジェクト	1人
世田谷無所属	1人
無所属	1人
合計	50人

常任委員会の委員の所属変更

11月7日付で中塚さちよ議員(民進社)の所属委員会を文教常任委員会から区民生活常任委員会に、羽田圭二議員(民進社)の所属委員会を区民生活常任委員会から都市整備常任委員会に、そのべせいや議員(F行革)の所属委員会を都市整備常任委員会から文教常任委員会に変更しました。

委員の辞任

○災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会

田中 優子(F行革)

○オリンピック・パラリンピック・環境対策等特別委員会

そのべ せいや(F行革)

○公共交通機関対策等特別委員会

羽田 圭二(民進社)

委員の選任

○災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会

そのべ せいや(F行革)

○オリンピック・パラリンピック・環境対策等特別委員会

羽田 圭二(民進社)

○公共交通機関対策等特別委員会

田中 優子(F行革)

・環境対策等特別委員会

羽田 圭二(民進社)

○公共交通機関対策等特別委員会

田中 優子(F行革)

正副委員長の互選結果

○決算特別委員会

委員長 安部ひろゆき(自民)

副委員長 津上 仁志(公明)

副委員長 たかじょう訓子(共産)

お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。
TEL (5432) 2779
TEL (5432) 2779
FAX (5432) 3030
本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容については、会議録(本会議の分は11月下旬、決算特別委員会の分は12月下旬の発行予定)をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。

